

## “ゴールはない”だから、学び続ける



(プロフィール)

### 松井 由希 氏

所属 埼玉県済生会栗橋病院 看護師長

勤続 19年目

卒業校 上尾市医師会上尾看護専門学校

\*准看護師として働きながら通学

「やれないことはないと思っている」「いろいろな人がいるから楽しい」前向きなことばを紡ぎだす松井由希氏。尽きることない伸びやかなチャレンジ精神でどのようにキャリアを構築されてきたのか伺いました。

#### —看護師を志したきっかけはありますか

高校を卒業後に、働きながら学びたいと考えて准看護学校に通いました。上尾中央総合病院のICUでお世話になっており、看護師さんが人工呼吸器により話ができない患者さんを一人の人として尊重しながら正面から関わる姿、患者さんの小さな変化を見逃さず苦痛を汲み取って看護する姿を見ていました。とても輝いていました。かっこよかった。その姿に憧れました。先輩方のようにしっかりアセスメントしながら看護にあたりたい。そのためには看護師を目指すことが必須なのではないかという思いがありました。

#### —進学のために準備したことはありますか

一度目のチャレンジは、勉強不足で合格とはなりませんでした。「まさか」という思いがあったのが正直なところでした。同じことを繰り返さないように、二度目のチャレンジの時は当直の休憩時間、勤務していた救急外来に患者さんが不在の時など、隙間時間の全てを勉強に当てました。

#### —准看護師として働きながらの国家試験対策はいかがでしたか

国家試験対策は仲間で集まって勉強をしました。3年生になりスタートした実習で多くの学びを得たことがきっかけで勉強が楽しくなり、やる気が出て結果がついてきました。

実習では、学んできたことを実施するわけですが、自分の関わりにより患者さんが快方にむかうという経験ができました。そうすると「もっとできることを増やそう」「アセスメントを深く学ぼう」という気持ちになり、実地と学びが結びついていきます。実際の看護の現場を体験することで様々な発見があり、世界が広がっていったように感じた記憶があります。

#### —勉強とアルバイトの両立はどのようにされましたか

当時、3か所でアルバイトをしていました。夜勤のバイトもありましたが、仮眠を取ることができましたし、周囲の方に恵まれていました。何よりも、学びを実践する場をいただいていたことがありがたく、働くことを苦に感じることはなく、むしろ勉強になる有意義な時間でした。

#### —看護師資格を取得してからはいかがでしたか

最初の勤務先は、大学病院の心臓血管外科の病棟でした。結婚に伴うライフステージの変化があり、現在の病院に移りました。こちらで初めて認

定看護師制度を知りました。自分が漠然と目指していた看護は「集中ケア認定看護師」だな、と腑に落ちる思いでした。ちょうど子どもが小学校に上がるタイミングと重なり躊躇がありました。周囲の支援で資格を取得することができました。

認定を取ってから10年が経過しましたが、理想と現実のギャップは今でも感じます。資格を取得しただけでは何も変わりません。いつでも、自分が動くことでしか変化は訪れない。現在は看護課長（師長）となり、ケアチームを回ってアドバイスする身ですが、未だ目指している看護への道を模索しているような状態です。

#### 一 准看護師、看護師、認定看護師とステップアップされています

私は、「やりたいと感じたことは実際にやらなくちゃ」と考えています。

必要だと感じた看護であれば、どうしたら実行できるか、どうするのがより良いかを考え始める—そんな思考パターンを持っています。できないという事を前提には考えません。

実は、いま大学で経済について勉強をしています。病院以外の場に身を置くことで、看護とは違う視点を持つことができます。自分自身のリセットにもなっています。大学では、職種も、年齢もバラバラの様々な方が学んでいます。新しい出会いは楽しいですし、世の中にはすごい人がたくさんいるな、と肌で感じることができます。そういった経験を得ることで慢心を防ぎ、新たな視点で看護を考えることが可能になっています。

これからも、「チャレンジしよう」そう感じたことをやりきって人生を過ごしたいです。

#### 一 挑戦し、道を切り開かれています

そう言っていただいてありがたいです。

楽しいばかりではありませんが、新しい学びの場に自分を置くことで充実しています。

つくづく実感しているのは、“ゴールはどこにもない”ということです。

准看護師になって、このままでは十分ではないという思いで看護師になりました。でもそれはゴールじゃなかった。認定を取れば何とかかなるか頑張ったけど、そこも道の途中でした。

自分のステージが変化していくその先ごとに凄い人がいて、新たな課題があります。ゴールはどこにもなくて、学びが終わることはありません。

やるべきことがある限り、勉強は続いていきます。

#### 一 准看護師として働いている方へメッセージをお願いします

准看護師の経験がある方はスキルを持っています。そのスキルをそのまま寝かせるのはもったいないです。ぜひ活かして行ってほしいと思います。

看護人生は、定年後も続きます。年齢などにとられることなく、ぜひ看護師へのステップアップを検討してみてください。いろんな可能性が広がるのではないのでしょうか。

（聞き手：看護を考える委員会 委員長 柿澤由紀子）

#### メッセージ

松井さんは、興味を持った事をとことん探究する探究心旺盛な方です。

経験を重ねても、その探究心は衰えるどころかパワーアップしています。

そこが、素敵で魅力的です。

看護以外の事にも興味を持ち、いつも元気でパワフルです。

看護の探究を共に歩む仲間として、yellを送ります。

埼玉県済生会栗橋病院

看護部長 鮎ヶ瀬 光子